

## 第8回ガイド実践入門「上野公園」研修終了報告

2017年6月8日実施 本部運営委員会

6月8日（木）午前10時、上野の東京文化会館前に集合し、「上野恩賜公園」研修を実施しました。参加者は総勢34名（会員24名、非会員7名、運営委員3名）、講師は沢本和歌子本部運営委員でした。参加者は、男性19名、女性12名で、語学別では英語の他、フランス語、スペイン語で最近資格を取得された方の他、中堅の方々も参加されました。前半は沢本講師の英語によるモデルガイディング。東京文化会館からスタートし、昨年



「ル・コルビュジェの建築作品」の一つとして世界文化遺産に登録された国立西洋美術館の前庭を通り、国立科学博物館や野口英世像を紹介しながら、東京国立博物館（東博）の前まで進みました。更に東博の並びにある旧因州池田屋敷表門（黒門）や日本最古の西洋式音楽ホールの旧東京音楽学校奏楽堂を紹介。そして大噴水広場近くの、上野公園生みの親と言われるボードウィン博士像を視察。又、その近くにある、浮世絵に描かれた壮大な寛永寺の様子を偲ぶ銅板を紹介しながら上野公園の歴史を説明。その後、明治維新の功労者で日本赤十字総裁を務められた小松宮親王銅像の横を通り、その裏側にあるグラント將軍夫妻が1879年に植樹したローソンヒノキとタイサンボク、及び記念碑を見学。そして上野東照宮を見学し、旧寛永寺五重塔やボタン園も紹介。その後、17世紀創建の頭部だけが残る上野大仏を視察し、摺鉢山古墳の近くを通り、1868年の上野戦争の戦火にも焼けずに残った重要文化財指定の清水観音堂（1631年創建）を見学。

最後に彰義隊の墓と西郷隆盛像を視察しモデルガイディングは終了しました。

後半、参加者は4班に分かれ、モデルガイディングのルートを通りながら、それぞれの言語でガイディング実習を行いました。

このガイド実践入門研修は半数がリピータ参加者で、何度も当研修に参加する中で、皆さんガイディング技術は向上を遂げていました。又、初めて参加された方々も、ガイド実践を何回か繰り返すことにより、各段に進歩されたことが実感できたかと思えます。研修後のアンケートのコメントで参加者から、上野公園をガイドする際の回り方や歩いている時にどのように話すかなど大変参考になり、大いに役に立ったとのコメントを頂きました。

